



# 市議会だより

平成28年

## 第74号

2016.11

■発行：富良野市議会 ■編集：議会広報特別委員会 [富良野市弥生町 1-1 TEL.39-2322]  
■ウェブ <http://www.city.furano.hokkaido.jp/shigikai/>



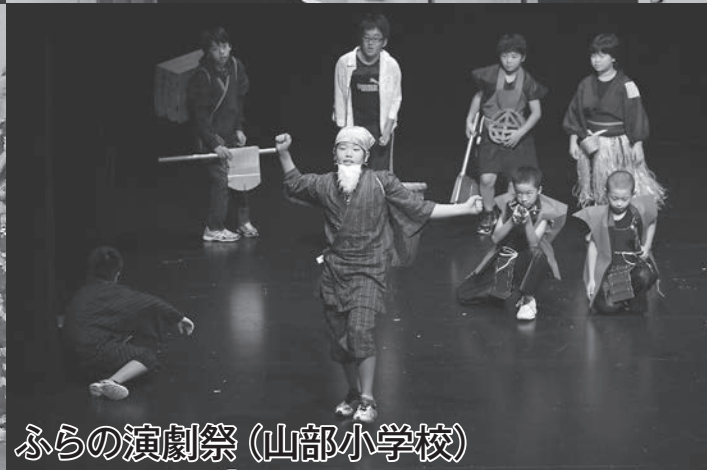
ふらの演劇祭 (富良野小学校5年生)



布部小中学校学芸会



麓郷小中学校学校祭



ふらの演劇祭 (山部小学校)

平成28年  
第3回

# 定例会

9月6日~9月16日  
(11日間)

## 主な内容

- ・ 議決結果・議会報告会のお知らせ…………… P 2
- ・ 一般質問…………… P 3～8  
11名の議員が市政全般について質問
- ・ 委員会報告等…………… P 8～11  
総務文教委員会報告・市民福祉委員会報告  
経済建設委員会報告  
会派都市事例調査報告  
決算審査特別委員会設置  
可決された意見書
- ・ 議会日誌・編集後記等…………… P 12

## 平成28年 第3回 富良野市議会定例会議決結果表

平成28年9月6日～9月16日(11日間)

議案番号	事 件 名	議決月日	議決結果
議案第1号	平成28年度富良野市一般会計補正予算(第6号)	9月16日	原案可決
議案第2号	平成28年度富良野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	9月16日	原案可決
議案第3号	平成28年度富良野市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	9月16日	原案可決
議案第4号	平成28年度富良野市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	9月16日	原案可決
議案第5号	平成28年度富良野市水道事業会計補正予算(第1号)	9月16日	原案可決
議案第6号	平成28年度富良野市ワイン事業会計補正予算(第1号)	9月16日	原案可決
議案第7号	富良野市空家等の適切な管理に関する条例の制定について	9月16日	原案可決
議案第8号	富良野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	9月16日	原案可決
議案第9号	富良野市表彰条例に基づく表彰について	9月6日	原案同意
議案第10号	富良野市公平委員会委員の選任について	9月6日	選任同意
議案第11号	平成28年度富良野市一般会計補正予算(第7号)	9月16日	原案可決
議案第12号	議員の派遣について	9月16日	原案可決
議案第13号	議員の派遣について	9月16日	原案可決
認定第1号	平成27年度富良野市一般会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第2号	平成27年度富良野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第3号	平成27年度富良野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第4号	平成27年度富良野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第5号	平成27年度富良野市公設地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第6号	平成27年度富良野市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第7号	平成27年度富良野市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第8号	平成27年度富良野市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
認定第9号	平成27年度富良野市ワイン事業会計歳入歳出決算の認定について	9月6日	継続審査
報告第1号	平成27年度健全化判断比率について	9月6日	報告済
報告第2号	平成27年度資金不足比率について	9月6日	報告済
報告第3号	株式会社富良野振興公社の経営状況について	9月6日	報告済
報告第4号	株式会社ふらの農産公社の経営状況について	9月6日	報告済
報告第5号	一般財団法人富良野市農業担い手育成機構の経営状況について	9月6日	報告済
報告第6号	株式会社空知川ゴルフ公社の経営状況について	9月6日	報告済
報告第7号	専決処分報告(自動車事故の損害賠償及び和解について)	9月6日	報告済
報告第8号	専決処分報告(平成28年度富良野市一般会計補正予算(第4号))	9月6日	原案承認
報告第9号	専決処分報告(平成28年度富良野市一般会計補正予算(第5号))	9月6日	原案承認
意見案第1号	林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	9月16日	原案可決
意見案第2号	J R北海道・J R四国・J R貨物に係る税制特例の恒久化等を求める意見書	9月16日	原案可決

### 議会報告会のお知らせ

議会報告会を次の日程・会場で開催します。未定となっている会場は日程が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

内容は議会の現状と活動、各委員会の報告、直近の定例会の報告となっております。

月日	会場名
10月12日(水)	末広コミセン (※終了しました。)
11月1日(火)	鳥沼会館
11月4日(金)	東部児童センター
11月7日(月)	朝日会館
11月9日(水)	育良会館
11月10日(木)	麻町児童センター
11月21日(月)	西地区コミセン
11月21日(月)	南コミセン
11月25日(金)	麓郷集落センター
11月28日(月)	栄町コミセン
11月29日(火)	東山公民館
11月30日(水)	東春コミセン
12月3日(土)	扇山地区公民館
未定	北の峰コミセン
未定	山部福祉センター

(全会場18時30分から開会)

## 萩原 弘之

〔民主クラブ〕

### 市民からの情報のゆくえは

**問** 全ての情報は市にとって貴重な財産である。また、情報の活用は、つかむ・まとめる・利用することが求められ、その後の分析・共有・報告・データー化が必要である。庁内での仕組みは。

**答** 庁内での統一的な処理マニュアルは策定をしていないが、市民の声については、意見箱・電子メール・地域懇談会などで意見・提言を頂いている。対応としては、各担当課に対応を指示し適切な処理を行っている。

### 市道の維持管理と今後の方針は

**問** 現状では舗装率約49%、排水路整備については27年度より計画的に行っているようであるが優先順位の考え方は。

**答** 着工順位については、地域要望・路線の重要度などの様々な観点から庁内で協議決定をしていく。また緊急性を要する箇

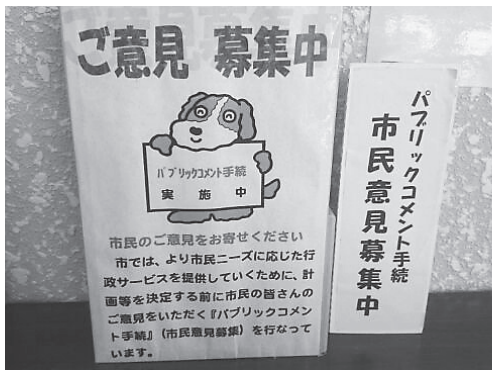
所については優先的に整備をしている。

**問** 道路及び排水路のパトロールで得る情報より、市民による情報提供が、多いと考えられるが、その後の対応は。

**答** 得た情報については、担当者が現場の情報確認・写真撮影などを行ない部署内で共有し適切な処置をしている。市道以外の情報であっても各関係機関に連絡調整を図っている。

**問** 集落地域の道路維持管理の民営化の考えは。

**答** 市道の維持管理は、直営で全て行うのは困難なため、民間と連携をして効率的な維持管理を行っている。今後は、連携強化と市職員の育成も図る。



市民からの意見箱

## 広瀬 寛 人

〔ふらの未来の会〕

### 民生委員の実態と担い手対策は

**問** 民生委員の年齢や在任年数の変遷はどのようになっているか。

**答** 昭和52年に54歳であった平均年齢は、平成27年には66歳となり、改選期における平均在任年数は、平成元年の11・5年から平成28年には5・1年となり高齢化が進むと共に在任期間が短くなっている。

**問** 担い手不足を解決する施策をどう考えているか。

**答** 地域での支え合い意識をより一層醸成し、共有する中から成り手を見出す必要があると認識している。

### 参議院議員選挙の検証は

**問** 投票所の設置や期日前投票所の課題分析は。

**答** 地域の同意を得ながら現在の投票所を設置しているが、有権者の高齢化等に伴い自分で行くことが困難な方に支援を検討



期日前投票所の風景

する必要がある。市役所に設置の期日前投票所は、場所が狭いため複数の投票用紙を交付する場合、投票用紙を一度に渡しており、有権者が混乱する場合もあると認識している。

**問** 課題解決に向けた取り組みと実施用途は。

**答** 巡回バスの運行やワゴン車等を活用した移動期日前投票所の運用について次回の選挙に向けて検討する。期日前投票所の設置については現在の市役所1階ロビーでは場所が狭いため、投票所の面積や有権者が投票所に来るまでの負担を考慮しながら新たな設置場所を次回の複数の投票用紙を交付する選挙に向けて検討する。

水間 健太

〔ふらの未来の会〕

海外モデル地域の選定について

**問** 本市が選定された経緯と事業主体、概要は。

**答** 本市において海外観光客の増加と海外からの投資に関するニーズが高まっているため投資受入態勢の確立をはかり、定住、交流人口の増加による地域活性化と雇用の確保をはかる事を目的に投資受入に向けた計画案を6月30日に北海道に提出し、8月1日付で投資受入態勢づくりのモデル地域として選定された。事業主体は北海道で、北海道が専門知識を有する事業者に委託する事になっている。平成29年3月の事業完了後も北海道と連携し投資受入態勢の整備に努めたい。

**問** 本市の今後の海外投資の受入態勢は。

**答** 本事業により海外投資のニーズ把握やノウハウなどの蓄積をし、事業完了後は、北海道の考える投資受入態勢と本市の考

える投資受入態勢の整合性をはかりながら北海道と協力して進めていく。

海外観光客の受入体制の整備について

**問** 消費拡大に向けた具体的な施策は。

**答** 事業者向けの語学研修会や外国語表記の支援をしている。

しかし、海外観光客の受入を望まない事業者もいることから関係団体と協力して対応する。

**問** 公衆無線LAN環境情報の提供は。

**答** 環境整備は難しいが、情報については商工会議所が進めるまち歩きナビゲーション開発事業で調査をすることになっていくので協議していく。

	困ったこと	最も困ったこと
無料公衆無線LAN環境	46.6%	30.2%
多言語表示(観光案内板等)	20.2%	4.7%
多言語地図、パンフレットの入手場所が少ない	18.8%	3.1%
旅館等のスタッフとコミュニケーションがとれない(英語が通じない等)	35.7%	21.1%
公共交通の利用方法(乗換方法を含む)	14.8%	4.9%
割引チケット、企画乗車券の情報の入手	14.9%	2.1%

※観光が行った「訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査」結果から抜粋

海外観光客が困っていること

後藤 英知夫

〔雄飛の会〕

まちづくりや観光開発に伴うルールづくりについて

**問** 景観や自然環境に配慮し、建築物の高さや色彩、形態等に制限を設ける考えは。

**答** 現在富良野市の都市計画区域内に関しては、建築基準法で一定程度の制限がされている。また、地区計画条例により、建築物の高さ等に制限を設けている地区もある。都市計画区域外における一定規模を超える建設や開発行為については、他市の事例等を調査し、研究していく。

**問** エリア、地区別の基準、ルールづくりの考えは。

**答** 市内で実施される開発等の事業者には、都市計画法に基づく開発の許可制度、富良野らしさの自然環境を守る条例において、関係住民との合意形成を指導している。近年急増する投資家等による道内観光地での大規模開発に鑑み、富良野市内においても、自然環境の保全や、無



北の峰地区の景観

秩序な乱開発を防止する必要性を認識している。都市計画マスタープランとの整合性や、特定用途制限地域の見直し、独自制限を設けるなど、地域の特徴を生かした、地域別の一定のルールづくりを検討していく。

**問** 外国資本による不動産取得に対する考えは。

**答** 外国資本による宿泊施設等の建設の場合、関係住民に対し事業計画の周知・同意を得るよう指導していく。昨年度、外国資本による届出は4件であった。倶知安町で制定した「ニセコひらふ地区エリアマネジメント条例」について調査、研究していく。海外投資のモデル地区選定に伴いノウハウを蓄積していく。

# 一般質問

黒岩 岳雄

〔雄飛の会〕

**JR根室本線の存続について、市の考え方と対応は**

**問** 今後JR北海道と協議していく上で、鉄路存続のためにどのような覚悟で臨まれるのか。

**答** 秋口までに示されるJR北海道の考えについて注視している。沿線自治体とも連携を図りながら、地域における公共交通機関として「鉄路は必要である」との認識に立ち、協議を進めたい。なお今後開催する「市長と語ろう地域懇談会」内でも、取り進む方向性を示していきたい。



フラノエクスプレス到着の賑わい

**問** 鉄道と市民生活、地域経済の繋がりと影響は。

**答** 当路線が地域住民の通勤・通学・通院・買い物など交通弱者の移動手段として欠くことのできない公共交通機関であり、併せて、JRによる本市の農産物輸送は必要不可欠なものと認識しており、鉄路廃止となれば大きな影響が出るものと考ええる。

**問** 根室本線、滝川―富良野―新得間の沿線自治体との連携が重要と考えるが、取り組みは。

**答** 沿線自治体で組織する「根室本線対策協議会」として8月30日JR北海道本社に対し、「根室本線の運行体系改善に関する要請書」を提出。また同日、北海道運輸局及び北海道に対し「北海道の鉄道体系の在り方に関する要望書」を提出した。今後、企画担当課長による幹事会で維持存続に向け、検討を行う。

**市内公園のバリアフリー化は**

**問** トイレや園路の整備計画は。

**答** 利用者が快適かつ安全に利用できるよう、遊具等の安全確保と共にトイレや園路等については検討しながら整備を進める。

渋谷 正文

〔雄飛の会〕

**市の花の制定**

**問** 市の花は、春を告げる「エゾムラサキツツジ」を昭和48年に選定している。現在、ラベンダーが当市をイメージする花として、日本国内だけでなく海外からの観光客の間でも定着している。市の花に「ラベンダー」を追加指定してはどうか。

**答** 富良野地域の花としてのイメージが内外に定着していることと認識するが、上富良野町や中富良野町が、すでに町の花として選定していることから、ラベン



北海道観光でイメージを持つ「富良野のラベンダー」

ダーを市の花として選定する考えはない。

**森林行政**

**問** 森林行政の課題は。

**答** 伐採後に植林をしない山林が増加する傾向にあることや、更新する意志が弱い者への所有権を移転させる状況もみられることから、持続可能な森づくりを継続するための新たな取り組みを検討する時期にある。

**問** 今後、市としてどのようなように再造林に取り組んでいくのか。

**答** 数十年後の収穫を見据えた投資となるので、これまでの取り組みに加え、意欲ある森林所有者への集積を進めることが必要と考える。森林組合等とその方法について検討する。

**スポーツ・文化振興**

**問** 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会への富良野市としての取り組みについての基本的な考えは。

**答** スポーツと文化の祭典であるとの位置づけから、演劇工場を中心とした情報発信を行いつつ、引き続き情報収集に努める。

大栗 民江

〔無党派〕

## 結婚しやすい環境づくり

**問** 独身でいる理由では「経済的な余裕がない」が2位に挙げられている。低所得者を対象に、住居費や引っ越し費用を最大18万円支給する国の制度を活用し経済支援を実施する考えは。

**答** 出会い総合サポート室を新設したところである。加えて結婚に伴う新生活を経済的に支援することで、出会いの場の創出、さらに婚姻数の増加につながるため、調査・研究していく。

## 問 新婚世帯に、祝福とエール



婚姻の増加につながる環境づくりは

を送る独自の支援策の考えは。

**答** 安定した雇用機会の提供、職場環境の充実を優先し対応していきたいので、市独自の支援は考えていない。

## 選挙の投票環境の整備は

**問** 現期日前投票所では同時に両方の投票用紙を渡され、本庁舎では、9人程の方が配置され、戸惑いや圧迫感がある為、本庁舎ロビーの狭い場所から変更する対応が必要と考えるが見解は。

**答** 新たな設置場所を検討していく。

## 問 共通投票所の考えは。

**答** 現在、共通投票所の設置は検討していない。期日前投票制度の周知を図っていく。

**問** 市民より選挙管理委員会に意見を上げやすい体制や投票所内のバリアフリー化は。

**答** 気づいた事があれば、メールや電話・FAXで連絡できるように周知する。選挙管理委員会としてバリアフリー化は困難。

**問** 投票所に行くことが困難な方のために移動期日前投票所の導入や巡回バス運行等の考えは。

**答** 検討を進めていく。

岡本 俊

〔市民連合議員会〕

## 子育て支援における医療費助成拡大について

**問** 子供を産み、育てやすい地域社会を目指し小学校卒業までの入院無償化を通院まで支援の拡充を図り、子育て環境の医療負担軽減を行うべきではないか。

**答** 本年8月医療分より小学校就学前児童の所得制限を廃止し、通院・入院に関する医療費については無料としている。小学生については、北海道補助基準に基づき、非課税世帯の入院にかかる医療費は無料。課税世帯の



元気なふらのの子ども達

入院にかかる医療費は1割負担となつている。今後はその実績・効果を検証し、子育て支援の総合的な政策のなかで、一部助成等を含めて判断していくべきと考えている。

## 公有財産の今後の方向性について

**問** 改装が終わる旧北の峰ハイツの貸付内容について、さらに官公庁公有財産売却ヤフーオークションで旧樹海東小学校、旧麓郷中学校校舎が売却出品された。売却の見込みについては。

**答** 旧北の峰ハイツについては、市民アンケート調査の中から出された地域活動、芸術・文化の創造活動、研修・研究活動、各種サークルの活動拠点として、個人・団体の専有を前提とした多目的な貸スペースの整備を進めている。貸付に係る募集要項の整備、貸付の料金設定などが整い次第、広報・ホームページで募集していく。また、貸付料については利用しやすい設定を考えている。旧麓郷中学校については今年度、購入の打診があり現地案内の対応を行っている。

佐藤 秀靖

〔ふらの未来の会〕

## 健康のまちづくりは

**問** 第二次富良野市健康増進計画では健康増進施策を重要施策としている。「市民の健康を最優先に考えるまち」をアピールするため仮称「健康のまちづくり」の都市宣言を行っては。

**答** 健康診断や検診などを通じて健康づくりの周知を徹底し、健康づくりを実践する市民の拡大を着実に進めることとし、現段階では都市宣言を行う考えはない。

**問** 「健康のまちづくり」と連動させ、「富良野は健康に力を入れるまち」をアピールし、マラソンやサイクリングなどのスポーツ大会や健康関連企業の誘致などを進めては。

**答** スポーツ大会や健康関連企業の誘致には条件整備が必要であると考える。可能な限り情報収集に努める。

## 医食連携の6次産業化は

**問** 農産物が持つ栄養素や健康に良い食べ方などが理解できる仕組みを構築し、「医食同源」のコンセプトで健康への理解と地産地消を同時に推進しては。

**答** 現在、一次・二次・三次それぞれの産業において富良野産の農産物を活用して地産地消を進める「メイドインフラノ事業」に取り組んでいる。栄養価やカロリー表示などについて飲食店と意見交換を図りながら取り組みを検討する。

**問** 大学や研究機関と連携し地元農産物を活用した健康食品の開発を進めてはどうか。

**答** 今後、メイドインフラノ事業で情報収集を図りながら、研究していく。

### 2 更なるチャレンジ（1）医食連携の探求

農水省・医食連携の6次産業化施策

関野 常勝

〔ふらの未来の会〕

## 子ども・子育て支援は

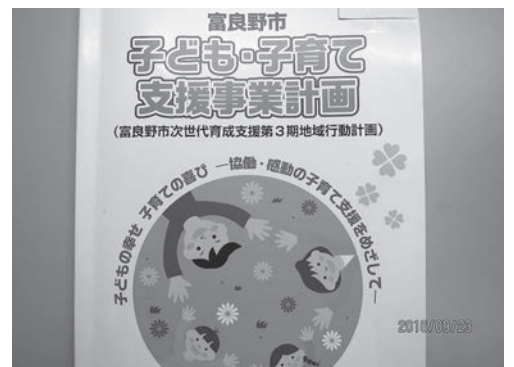
**問** 「富良野市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」と「富良野市子ども・子育て支援事業計画」との整合性は。

**答** 総合戦略では、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる戦略として事業を計画しており、子ども・子育て支援事業計画では、総合計画を具体的に推進する個別計画として、子育てを社会全体で支えていくことを基本に、各々の計画が連携しあうことで、子育て環境が向上していくと考える。

**問** 「子ども・子育て支援事業計画」における利用者支援は。

**答** 妊娠期から就学期まで、各種相談窓口を開設し、相談に來られない方にも、幅広い周知方法などで対応していく。

健康面、子育て、家庭の養育では、保健師、保育士、家庭児童相談員が相談・指導を行い、また、ホームページや広報誌な



子ども・子育て支援事業計画

どで支援情報の充実に努めていき、特に子育てガイドブックの拡充についても検討をしていく。

**問** ファミリー・サポート・センター（以下、ファミサポ）の現状と病児、病後児保育事業の今後の方向性は。

**答** ファミサポは平成26年度からアドバイザー1名を配置し、現在127名の会員で、本年度は、8月末で122件の利用があり、そのうち3件が軽度の預かりで、年々利用が増加している。病後児保育事業については、今後もファミサポ事業で対応し、看護スタッフの専門的な研修などの体制づくりが必要であり、医療機関等での研究、検討を進めていく。

## 今 利 一

〔市民連合議員会〕

### 災害時の危機管理体制は

**問** 今回の台風の影響は各地域に大きな被害をもたらした。こうした災害は、初期の対応によつては災害を小規模に食い止める事が出来る。危機管理体制はどの様になっているか。職員の行動マニュアルが必要ではないのか。

**答** 災害時においては、富良野市防災計画に定める「防災組織」を基本とし、危機管理及び、緊急対応を行っている。しかし災害発生または、災害が予想され



台風被害を受けた麓郷街道

る場合の初期の対応については、住民周知、避難所受け入れ体制整備等多くの人員が必要であり、不測の事態に備えている。

職員の防災訓練についてはこれまで市・消防・警察・自衛隊等関係機関による訓練や住民の防災意識の向上を目的に実施している町内会・自主防災組織の訓練の中で実施している。

### コミュニティ推進員の強化は

**問** 持続可能な地域づくりのために、人口流出の多い地域では「人づくり」を基本として、コミュニティ推進を強化するべきと考えるが、推進員の増員と推進目標の考えは。

**答** コミュニティ推進員は、連合会の会合に出席し密接な連携を図るとともに、地域コミュニティ活動に対して指導・助言を行う。課題としては、連合会により活動のばらつきがありあまり連携していない地域もある。活用していくよう周知していく。地域振興策や地域の人づくりはそれぞれの担当部署を中心に取り組む課題、二人体制を堅持する。

### 総務文教(事務調査報告)

#### ■調査第1号 「学校教育と地域の関わりについて」

「すべては子どもたちのために」を合言葉に、学校、家庭、地域が一体となって、取り組みを持つ事が子供たちの成長に重要なことであることを、認識し調査した議論経過と結果を報告する。本市は、学社融合事業を永年取り組み、地域の伝統芸能や環境教育、交通安全などの事業推進を図り、また、開かれた学校づくりの取り組みとして、学校だよりの配布、学校行事への住民参加や子どもたちの見守り活動などの推進を図っている。課題検証として、学校では、生徒数の減少・職員の削減・教育現場の多忙化・教育ニーズの変化などがみられる。また、家庭や地域では、核家族化の進行により、子育ての情報量の減少・近隣家庭とのコミュニティの希薄化・子どもたちを認知する機会の減少・PTAの組織力の低下懸念など議論された。以上のことから次の点を報告する。

### 委員会の動き

1 コミュニティスクールの取り組みは、十分な準備期間をとり、独自の方針を持つことが必要である。2 学社融合事業は、重要であり継続と発展のために、定期的な見直しと、学校支援ボランティアの体制強化を図るべきである。3 子どもたちも地域の一員であることを認識し多様な人との関わる機会を通して、地域で子どもを支える意識の高揚に務められたい。4 PTAは重要な支援団体であるので維持強化の支援を行うべきである。総括として、子どもを中心とした、地域力の推進は、今後、本市の人材育成とまちづくりに大きく影響するものであると意見の一致を見た。



富良野小学校学社融合事業



## 総務文教(都市事例調査報告)

### ■調査事項「学校教育と地域との関わりについて」

#### 三重県志摩市

鵜方小学校のコミュニティスクールの取り組みは、文科省の研究校として、2年の準備期間をもって進められてきており、特に鵜方小フェスタは、地域住民も参加する学校行事として位置づけ、バザーの開催や作品展などが行われている。

#### 愛知県瀬戸市

本市と同様に東大付属の演習林を抱え地域協定を締結して演習林の保全や環境教育について連携を図り、環境創造都市として、演習林のフィールドを利用して環境教育を推進している。

#### 愛知県豊田市

豊田市版コミュニティスクールの取り組みは、既存の中学校の校区を単位として始められており、地域の自治組織を活用しながら、義務教育期間の9年間を見通すことで、子どもの成長を地域で共有しているところが特徴である。また学習支援ボラ

ンティアの共有ができることも利点と言える。特色ある学校づくり推進事業では、学校に配分された予算を校長の裁量で運用ができ、実態に応じた教育活動の充実や専門的な人材を活用すること、教育水準の向上を目指している。

#### 愛知県一宮市

教育推進プランを策定し事業の充実を図るため、コミュニティスクールに着手し市内全学校で取り組んでいる。目的として、家庭・地域・学校の教育力の向上と小中学校の連携や家庭・地域との連携を活動の柱としていることにより地域住民に子どもたちが認知されてきていることが特徴である。



豊田市議会議場にて

## 市民福祉(事務調査報告)

### ■調査第2号「体育施設の現状と課題について」

市民福祉委員会より、「体育施設の現状と課題について」調査経過と結果について報告します。

一点目はスポーツセンターの改修です。この施設は昭和49年に建設されてから40年以上が経過していることから施設各所の老朽が目立ち改修の必要性を感じました。特に洋式トイレと障がい者用トイレの設置、シャワールームの改修、観覧席の落下防止柵は早急の対応が必要です。

また、防災対策に置いても災害時の避難所として利用することを想定するならば高齢者、障がい者に配慮したバリアフリー化が必要と考えられます。

二点目は陸上競技場の改修です。現在、富良野沿線では唯一の第四種公認競技場であることから、中体連等の陸上大会が行われています。しかし、競技場が全天候型でないことから天候によってコンディションが左右され、

記録の向上の点からも改修が望まれます。

三点目は空知川河川運動公園にあるサッカー場Bです。利用状況が少ないことから今後の活用の検討が必要です。

四点目は市とふらの体育協会との連携です。現地調査の中で施設の破損箇所が見受けられました。市内の屋外スポーツ施設は体育協会が管理、運営を行っているが、施設を良好な状態にすることに加えて、施設の改善が必要となった場合は市と協議しその対応が必要となります。本年四月より文化・スポーツ部門が市長部局に移管されたことにより今後スポーツ行政の効果的な推進に期待します。



体育施設の現地調査

## 経済建設(事務調査報告)

## ■調査第3号 「農業担い手対策の実態について」

本委員会では、担当部局に資料の提出と説明を求め、基幹産業である農業の担い手対策の実態についてこれまでの取組み経過の説明を受け、更に市内現地調査を実施し、現在の農業担い手育成センターにおける新規参入者の研修状況や東山地域育成部会の研修生の受け入れ状況について聞き取りを行い、その実態の把握に努めてきているところであります。

国が担い手対策の整理・強化を図る中、本市では平成26年3月、第二次富良野市農業及び農村基本計画を策定し、農業の担い手対策への重点的な取り組みが喫緊の課題とされてきました。そのような中で、これまでの「産業研修センター」を「農業担い手育成センター」へ改め、市職員を配置すると共に、関係機関の連携を図るために富良野市農業担い手育成協議会を設立してきました。



農業担い手育成センター

その後、平成28年2月には「一般社団法人 富良野市農業担い手育成機構」として法人格を取得し、担い手の受け入れ態勢の強化を図ってきているところであります。

現在、農業担い手育成センターの対応として、「新規参入」「雇用就農」「体験実習」「親元就職」「企業連携」の窓口を開設しております。

今後は研修の実態から個々の課題について検証すると共に、都市事例調査を行い、他市の事例も参考にしながら、本市の農業担い手対策の方向性について、委員会として更に深く議論の掘り下げが必要なことから、継続調査を求めるものであります。

## 経済建設(付託条例審査報告)

第3回定例会で付託されました議案第7号「富良野市空家等の適切な管理に関する条例の制定について」の審査の経過と結果について報告します。

付託審査にあたっては本市の空家等の実態に即した条文内容であるか審査を行ってまいりました。

はじめに空家特措法の第6条空家等対策計画について、本条例には含まれておりませんが、空家特措法では、市町村が空家等対策計画を作成できることとされており、空家等に対する市民意識の涵養のためにも今後作成する必要があると。また、空家等への立入調査を拒んだ場合や命令を履行しなかった場合に科される過料については、条文への記載はありませんが、空家等を所有する市民に対し適正な維持管理につながるよう周知を図るべきであります。

次に第14条の緊急安全措置については、空家等所有者の同意または告示により措置を講じる

こととされていますが、同意が得られない場合においても告示の施行期日を早めるなど迅速に手続きが進められるべきであります。さらに、緊急安全措置を実施する場合には、その緊急性を十分に鑑み、代執行による手法との違いを明確にし、地域住民の理解を得ながら実施の手續きを進めるべきであります。

最後に第16条の富良野市空家等対策協議会については、特定空家の認定基準や認定に関する審議など、行政が空家等対策を推進する上で重要な意思決定を促す組織と位置づけられ、できるだけ早い段階で組織の立ち上げを行うべきであります。

行政は地域の実情を踏まえ当事者や近隣住民との十分な合意形成を図りながら施策の推進に当たると考えます。本条例の施行に伴い必要な規則及び推進体制を早急に整備し、喫緊の課題となつている空家等対策の推進に向けて本条例の運用に当たられること望み、本委員会として原案どおり可決するものとして意見の一致を見た次第であります。

## 雄飛の会・無党派 都市事例調査報告

【東京都大田区】

### 国家戦略特別区域外国人滞在 施設経営事業（特区民泊）

現在、国は民泊を緩和する動きがあることから、事業者は特区民泊に大きく舵を切ろうとする状況ではなく、法制度が整備されてから判断するといった模様の状況にあり、特区民泊への大きな流れとはなっていない。法的ルールを明確にするこ  
とによる「安全・安心面の不安解消」が前提となる。

### 議会へのタブレット端末導入

何を求めるのか、明確にすることが前提となる。導入には時間をかけて、ひとつひとつ実証と丁寧な検証を行い、執行機関と足並みをそろえて、課題解決できる体制をつくっていくことが肝要である。常に時代に即した機能が拡充されることを意識し、システム導入の際には公募型企画提案（プロポーザル方式）の検討が必要と感じた。

【長野県軽井沢町】

### 軽井沢グランドデザイン、観

光戦略、民泊施設等の取扱基準  
マチの姿、生活の規則を定めるには、行政の果たす役割に加えて、住民の生活や感情が問題となる。

将来を展望する高い視点を持ってマチをデザインし、観光振興に取り組んでいくことが、行政と住民の協働によって風土自治が成熟し、当市の「自然豊かな山岳景観と人が織りなす田園景観」が一層輝くものと考ええる。

【長野県塩尻市】

### ワイン用ぶどうの生産振興

優良品種の確保と産地維持を図る上で、寒冷地に合った苗木の確保と、体系づけの中で、課題解決に向けた諸施策を効果的に発揮することが求められる。



軽井沢町農産物等直売施設にて

## 平成27年度 決算審査特別委員会設置！

平成27年度一般会計外各会計決算が、監査委員（宇佐見正光氏、渋谷正文氏）の審査を受け、認定を受けるため第3回定例会に提案されました。

◆本議会では、各会計の決算審査のため、議長と議会選出監査委員を除く議員16名による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

◆9月6日の定例会終了後に委員会を開き、委員長に広瀬寛人委員、副委員長に後藤英知夫委員を選出しました。

◆また、9月16日の定例会閉会后に委員会を開催し、各所管にかかる審査日程及び決算審査に必要な審査資料を決定すると

（各所管審査日程）

11月4日（金）	保健福祉部 看護専門学校 経済部
11月7日（月）	建設水道部 教育委員会
11月8日（火）	総務部 市民生活部 歳入総括
11月22日（火）	予備日

右記日程にて傍聴できます。

## 可決された意見書

◆第3回定例会に議員提案された意見書は次の2件です。意見書は可決後、直ちに関係機関に送付しました。

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書  
（宇治 則幸 議員 外5名）

●JR北海道・JR四国・JR貨物に係る税制特例の恒久化等を求める意見書  
（岡本 俊 議員 外7名）

# 議会日誌

## 8月

- 5日・市民福祉委員会
- 8日・経済建設委員会
- 12日・総務文教委員会
- 17日・経済建設委員会
- 18日・総務文教委員会
- 19日・市民福祉委員会
- 30日・第3回定例会告示
- 31日・正副議長・議運正副委員長会議

## 9月

- 2日・議会運営委員会  
・代表者会議
- 6日・第3回定例会（1日目）  
・総務文教委員会  
・市民福祉委員会  
・経済建設委員会  
・議会広報特別委員会  
・決算審査特別委員会
- 8日・経済建設委員会
- 12日・第3回定例会（2日目）  
・正副議長・議運正副委員長打合せ  
・議会報告会正副班長打合せ
- 13日・第3回定例会（3日目）  
・経済建設委員会
- 14日・第3回定例会（4日目）  
・議会運営委員会
- 16日・第3回定例会（5日目）  
・決算審査特別委員会
- 26日・市民福祉委員会

## 10月

- 3日・議会広報特別委員会
- 6日・総務文教委員会  
・経済建設委員会
- 11日・市民福祉委員会
- 12日・議会報告会（末広コミセン）
- 13日・議会広報特別委員会
- 17日・広域連合議会第2回定例会
- 21日・議会広報特別委員会
- 25日～28日  
・経済建設委員会都市事例調査
- 26日・総務文教委員会  
・市民福祉委員会



都市事例調査		委員会議	
委員会名	調査件名	調査番号	調査件名
経済建設委員会	農業担い手対策について	調査第4号	防災計画について
	京都府京丹後市 福井県あわら市 福井県若狭町	調査第5号	市民の文化推進について
	調査日		
	10月25日 ～ 28日		

●各常任委員会では、議長の許可を受け、閉会中次のとおり事務調査及び都市事例調査を行います。

### 傍聴してみませんか

平成28年第4回市議会定例会の開会予定日をお知らせします。

【日 程】	
12月 5日(月) 開 会 日	12月14日(水) 予 備 日
12月12日(月) 一般質問	12月16日(金) 最 終 日
12月13日(火) 一般質問	

お問合わせ：議会事務局  
**☎39-2322**

※開催日は変更する場合がありますので、傍聴の際は日程を確認ください。  
※多くの方の傍聴をお待ちしています。

### 編集後記



▼今年も残すところあと2ヶ月となりました。気温も低くなり寒さも本格的になってきました。

▼今年は、自然災害に悩まされた夏でした。台風10号により、隣の南富良野町は甚大な被害を受けました。早い復興を願うばかりです。

▼自然災害の少ないとされる地域でも、今年の災害により防災減災に対する意識は高まったように感じます。

▼自然災害は、いづどこで起こるかわからない状況です。被害を最小限に抑えるには自助共助公助それぞれの中で、防災減災に対する意識の醸成と準備が重要になってきます。また、災害発生時の正確な情報共有は必須となります。

▼まずは、身近な家族と災害時にどのような方法で連絡を取るか、近隣の避難場所はどこなのか等を話してみるのが防災減災の第一歩となるのではないのでしょうか。

議会広報特別委員会

委員 水間 健太